

令和6年度における多古町の財務書類（全体会計・要約版）

要約 貸借対照表（令和4年）

多古町 <全体会計>

資 産		負 債	
町の所有資産。 行政サービスを提供するための能力を表します。		借入金など、将来世代が負担する債務を表します。	
25,854百万円		8,419百万円	
<内容> (単位：百万円)		<内容> (単位：百万円)	
固定資産	21,862	固定負債	7,361
①事業用資産 庁舎、学校、公民館など町のサービス提供を行うための資産	8,018	①地方債 町が発行した地方債（翌年度に返済しない部分）	4,167
②インフラ資産 道路など町のサービス提供の基盤となる資産	11,434	②退職手当引当金 今、全職員が退職した場合の退職金の見積額	730
③物品、ソフトウェア 車両やパソコンなど	562	③長期未払金など	2,463
④投資等資産 町の関係する団体への出資金や 町が特定の目的のために積立している基金など	1,850		
流動資産		流動負債	
3,992		1,058	
①現金預金	1,257	①1年以内償還予定地方債 町が発行した地方債（翌年度に返済するもの）	638
②基金	2,209	②預り金など	420
町が積立している財政調整基金			
③未収金など	527		
		純資産	
		17,435百万円	
		資産と負債の差額。 現在までの世代が負担した金額で「正味の資産」を表します。	

要約 行政

多古町 <全体会計>

A 経常費用	13,377百万円
行政サービスを提供するためにかったコスト	
<内容> (単位：百万円)	
①人件費 職員の給与など人に係るコスト	3,245
②物件費等 光熱費、施設などの補修費、減価償却費など物に係るコストや地方債の利子など	4,256
③移転費用 各種団体への補助金や社会保障給付費など	5,877
B 経常収益	2,846百万円
行政サービスの利用で町の利用者が直接負担する施設の使用料や手数料	
C 純経常行政コスト (A-B)	10,531百万円
D 臨時損失	8百万円
災害復旧、資産の売却損ばど臨時に発生する費用	
E 臨時利益	0百万円
資産の売却益など臨時に発生する利益	
F 純行政コスト (C+D-E)	10,539百万円

要約 純資産変動計算書

多古町 <全体会計>

前年度末純資産残高	17,743百万円
本年度純資産変動額	△ 308百万円
1年間の貸借対照表の純資産（正味の資産）の変動を表す。	
<内容> (単位：百万円)	
①純行政コスト 1年間の行政コスト	△ 10,539
②財源 税収や国・県からの補助金など	10,426
③その他 資産の評価益、資産の寄付寄贈など	1
本年度末純資産残高	17,435百万円

要約 資金収支計算書

多古町 <全体会計>

前年度末資金残高	1,227百万円
本年度資金収支差額	29百万円
1年間の町全体の現金の収入及び支出がどのように生じたのかを性質別に区分して表す。	
<内容> (単位：百万円)	
I. 業務活動収支 人件費・物件費・移転支出など	671
II. 投資活動収支 公共資産の取得、基金の積立支出など	△ 287
III. 財務活動収支 地方債の返済など	△ 356
IV. 本年度歳計外現金増減額 源泉所得税などの預り金の増減	3
本年度末現金預金残高	1,257百万円